

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤 卓実	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

下肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

期末試験評価:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学・理論編(全国柔道整復学校協会編集), 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)

【参考図書】

神中整形外科, 標準整形外科, MonthlyBook オルソペディクス

《授業外における学習方法》

毎回の講義後, 配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。

《履修に当たっての留意点》

在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部の構造と機能を理解する	柔道整復学・理論編, 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	講義開始までに履修済みの内容については、科目横断的に知識を整理しておくこと
	各コマにおける授業予定	骨盤部の損傷-解剖と機能		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨単独骨折を理解する	柔道整復学・理論編, 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	骨盤部の損傷-骨盤骨骨折1		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨環骨折を理解する	柔道整復学・理論編, 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	骨盤部の損傷-骨盤骨骨折2		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨骨折の観血療法・保存療法を理解する	柔道整復学・理論編, 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	骨盤部の損傷-骨盤骨骨折3		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の構造と機能を理解する	柔道整復学・理論編, 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	股関節部の損傷-解剖と機能		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨近位端部骨折の概説を理解する	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	股関節部の損傷-大腿骨近位部の骨折1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折を理解する	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	股関節部の損傷-大腿骨近位部の骨折2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨転子貫通骨折・大転子・小転子単独骨折を理解する	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	股関節部の損傷-大腿骨近位部の骨折3		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、大腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	大腿部の損傷-解剖と機能		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、大腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	大腿部の損傷-大腿骨幹部の骨折1		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、大腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	大腿部の損傷-大腿骨幹部の骨折2		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、大腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	大腿部の損傷-大腿骨幹部の骨折3		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、膝関節部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	膝関節部の損傷-解剖と機能		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、膝関節部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	膝関節部の損傷-大腿骨遠位部の骨折		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、膝関節部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編、解剖学(全国柔道整復学校協会編集)	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
		各コマにおける授業予定	膝関節部の損傷-下腿骨近位部の骨折		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤 卓実	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

下肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

期末試験評価:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学・理論編(全国柔道整復学校協会編集), 解剖学(全国柔道整復学校協会編集)

【参考図書】

神中整形外科, 標準整形外科, MonthlyBook オルソペディクス

《授業外における学習方法》

毎回の講義後, 配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。

《履修に当たっての留意点》

在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回 講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、膝関節部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	膝関節部の損傷-膝蓋骨の骨折		
第17回 講義形式	授業を通じての到達目標	下腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、下腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	下腿部の損傷-解剖と機能		
第18回 講義形式	授業を通じての到達目標	下腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、下腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	下腿部の損傷-下腿骨幹部の骨折1		
第19回 講義形式	授業を通じての到達目標	下腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、下腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	下腿部の損傷-下腿骨幹部の骨折2		
第20回 講義形式	授業を通じての到達目標	下腿部の解剖学的構造と特徴を理解し、下腿部に発生する損傷の病態を理解する。	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
	各コマにおける授業予定	下腿部の損傷-下腿骨幹部の骨折3		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-解剖と機能	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-下腿骨遠位部の骨折1	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-下腿骨遠位部の骨折2	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-足根骨部の骨折1	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-足根骨部の骨折2	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-足根骨部の骨折3	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節部の解剖学的構造と特徴を理解し、足関節部に発生する損傷の病態を理解する。 足関節部の損傷-足根骨部の骨折4	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足部の解剖学的構造と特徴を理解し、足部に発生する損傷の病態を理解する。 足・趾部の損傷-解剖と機能	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足部の解剖学的構造と特徴を理解し、足部に発生する損傷の病態を理解する。 足・趾部の損傷-中足骨の骨折	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足部の解剖学的構造と特徴を理解し、足部に発生する損傷の病態を理解する。 足・趾部の損傷-趾骨の骨折	柔道整復学・理論編改訂第6版	履修した内容を、参考図書などを利用し、科目横断的に確認することと、オルソペディクス等を参照に最新知識を取り入れること。